九学通信

https://kyugaku.ed.jp/

“Strive to discipline yourself and be a helpful,caring person.”

Kyugaku Journal

(1) 2026年6月20日　　第145号

発行所／九州学院　〒862-8676 熊本市中央区大江5丁目2-1　TEL(096)364-6134　FAX(096)363-2576
発行人／中島康文　編輯人／森真紀　印刷所／㈱河田印刷　熊本市南区近見8丁目5-105　TEL(096)353-1049

2026年度年間聖句

わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、
あなたがたは神の畑、神の建物なのです。（コリントの信徒への手紙一 3章9節）
For we are co-workers in God’s service; you are God’s field, God’s building. (1 Corinthians 3:9)

「必要なもの、捨てるもの。」

「しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない」

－ルカ10章42節－

九州学院院長　　中島 康文

主イエスを迎えたマルタとマリア姉妹。おもてなしのために忙しなく働くマルタ。一方、妹のマリアはただ座って話を聞いているだけ。ついにマルタは業を煮やして「妹にも少しは働くように言ってください」と主に願うのです。その時に言われたのが、今回の聖句です。マルタを責めているのではありません。ただ、「マリアが選んだのは良いものである」とおっしゃっているに過ぎませんが、「今、必要なものは何かを考え求めなさい」であると同時に、「必要でないものは何かを考え実行しなさい」とも聞こえます。

昨年三月、引っ越しの準備で忙しい毎日を過ごしていました。25年間住んだ牧師館には六人家族の思い出と共に沢山の生活用品で溢れていました。選別する暇はなく、決断したことは「欠かせない物以外は捨てる」でした。その結果、身軽になり新しい地での生活は快適です。時折「あれは残しておくべきだったかなぁ」と思うこともありますが、それに代わるものはちゃんと用意されている気がしています。

大切なもの、必要なもの、自分がやりたいこと等々が分からなくなったら、一度「必要ではないものは何か」を考えてみると、意外に早く答えに辿り着くのかもしれません。

心も身軽にして、自分が本当に必要なものに出会えるよう、皆様の毎日に神様のお支えを祈っています。

2026 中高入学式・対面式

高校331人・中学校104人が入学

～約1400人の生徒・教職員で開校116年目の歩みへ～



〔中高全学年（高校27クラス・中学校9クラス）が一堂に会して行われた対面式〕

4月9日㈭、九州学院総合体育館において九州学院高等学校・中学校の2026年度入学式が挙行され、高校1年生331人、中学校1年生104人、計435人の入学が室永芳久中高校長により正式に許可されました。

九州学院はキリスト教を根幹に置いた全人教育（徳育・知育・体育に霊育を加える教育）を行う学校であることから、入学式開式前に礼拝をささげました。中島康文院長（牧師）が聖餐卓の蝋燭に火を灯し、新約聖書ルカの福音書10章38～42節からメッセージを語りました。中島院長は新入生に「皆さんの九学生としての日々の歩みを、神様が支え守ってくださり、素敵な九学生の日々を過ごすことができますよう願っています」と述べた後、祈祷と祝福を行いました。

入学式は学校長式辞と来賓紹介に続き、川上一真さんが在校生を代表して新入生に歓迎の言葉を贈りました。続いて高山あさひさん（中学生）と吉村虎之助さん（高校生）が新入生を代表して誓いの言葉を力強く述べました。閉式後は各教室で学級開きが行われました。

翌10日㈮の2時限に同所において、中高生徒会主催による対面式が開催されました。近年は気温の変化が激しいことや中高同時開催行事（全校行事）が少ないこと、校内のICT化が進んだことなどから、このように総合体育館に全校生徒と教職員が一堂に会する機会はこの対面式と芸術鑑賞、九学祭校内発表などに限られています。新年度が始まり、中高全学年が揃う初日に同じ場所に集って対面式を実施できたことは大きな意味があります。

その総合体育館では既に1階（剣道場など）は空調設備を設置しており、2階（アリーナ）も今年度中の設置完了をめざしています。その他の建物でも設備の更新や改良工事が必要な場所があります。教育環境の整備をさらに進めるため、皆様のご支援をたまわりますようお願いいたします。

高校

春季開催の全国・九州大会で活躍・健闘

～正木選手がケイリンで全国準優勝～

2025年度末（主に春休み期間）に開催された全国大会と九州大会で、本校の選手が活躍、健闘しました。

3月15日㈰、群馬県の日本トーターグリーンドーム前橋で開催された令和7年度全国高等学校選抜自転車競技大会男子ケイリン決勝において、正木颯人選手が準優勝の活躍でした。また、同日に行われた男子スプリントでは前川權里選手が5位入賞と健闘しました。なお、自転車競技部は4月5日㈰に宮崎県綾町で開催された九州チャレンジサイクルロードレース男子ジュニアで福永岳選手が優勝、藤田怜太郎選手が準優勝し、全日本大会出場権を獲得しています。

陸上競技部は2月15日㈰に兵庫県西脇市などで開催された第18回西脇多可新人高校駅伝競走大会において準優勝、6区走者の永本湊士選手が区間賞獲得の力走でした。なお、陸上競技部は3月22日㈰に長野県伊那市で開催された男子第49回春の高校伊那駅伝で総合5位、3月8日㈰に鹿児島県阿久根市で開催された男子第36回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝大会で準優勝、久保和寛選手と田中允紳選手が区間賞を獲得する見事な活躍でした。

剣道部は3月27日㈮・28日㈯に愛知県春日井市総合体育館で開催された男子第53回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会で3位入賞と健闘しました。なお、剣道部は2月14日㈯・15日㈰に山鹿市総合体育館で開催された第40回九州高等学校選抜剣道大会で、団体・個人で5位に入りました。

柔道部は3月27日㈮・28日㈯に東京都の日本武道館で開催された第48回全国高等学校柔道選手権大会団体戦・個人戦に男女ともに出場。石橋菜々選手が女子個人戦無差別級で5位に入る健闘でした。

春季の全国大会では他にも空手道部が長野県のエア・ウォーターアリーナ松本で開催された第45回全国高等学校空手道選抜大会に、チアダンス部が3月25日㈬・26日㈭に千葉市の幕張メッセで行われたUSA School&College Nationals 2026に九州地区代表（優勝）で出場しています。また、弓道部男子が第3回西日本高等学校弓道大会で4位入賞、バスケットボール部が第56回九州高等学校バスケットボール春季選手権大会で3位入賞しています。

※4面の学友会活動成績をご覧ください。

院長室だより

院長　**中島　康文**



昨年秋以降、院長室のドアに似顔絵を貼っています。昨年の九学祭の折、中一生の企画が「教職員の似顔絵展」だったらしく、私の似顔絵を三人の生徒さんが描いてくれたものです。（展示当日、私は別の仕事のために見学できませんでした。）折角描いてくれたのだからと、頂いて以降、自己紹介を兼ねて一週間おきに貼ることにしました。それぞれが、感じたままを描いてくれているので、「自分で自分を観るのとは違う視点があるのだなぁ」と感じ入っています。三人三様の描き方ですが、共通していることもあります。「眼鏡と髭、額が広い、そして襟のカラー」です。顔の特徴はともかくとして、私は院長就任以来、服装は「カラー（牧師服）」で過ごすと決めていましたので、それが印象に残っているのでしょう。

以前、社会福祉法人の理事長を務めていた時、ある理事から「役所などの交渉にはカラー服着用で行って欲しい」と言われたことがありました。「私たちの法人が何を大事にしているかを、見ただけで判断してもらえるのだから」というのが理由でした。そのことがあって九州学院でも「九学の信仰告白としてカラー服を着る」と決めたのです。とはいえ、それに見合うだけの十分な働きが出来ているかは疑問ですが、九学精神の「歩く広告塔」としっかり覚悟して、これからも務めてまいりたいと思っています。

同窓生の皆様、育友会の皆様、九学に御来校の折には是非、彼らが描いてくれた似顔絵を見に来て下さい。ついでに「在室」とありましたら、お気軽にノックしてみてください、お待ちしています。

皆様の日々の歩みを主がお守りくださいますよう、院長室よりお祈りいたしております。

2026年度を迎えて



中高校長　室永 芳久

平素より本学院の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

皆さまのおかげをもちまして、中学校・高等学校ともに、2026年度入試においても多くの受験生を与えられ、中学校104名、高等学校331名の新入生を迎えることができました。4月9日の入学式、10日の対面式を終え、九州学院に新しい仲間が増えたこと、心より嬉しく思っております。

現在、学校は一学期半ば、年度初めの諸行事もひと段落し、高校総体・総文祭、中体連に向けて各部活動が活気づいているところです。同時に学習への取り組みも各学年とも本格化しつつあり、生徒の皆さんは、文武両道を実践すべく、各所で頑張っている様子が校内では多く見られます。充実した日々を過ごし、悔いのない取り組みをしてほしいと願っています。

昨年度は、就学支援金の拡充、県立高校の定員の見直し等をめぐって、私立学校を取り巻く環境が大きく変わる潮目でありました。この変化が、今後の本学院にどのような影響を及ぼすかは不透明な状況ですが、115年間培った九州学院の魅力を、変わらずに発信していければと思っております。

これから学院は、新たな一年間の歩みを始めます。中高ともに、新一年生は一日も早く「九学」の生徒となり、学校生活を謳歌してもらいたいと思います。また二年生は、中核を成す学年として学院を担う自覚を持ち、同時に次の最終学年に向けて個々に頑張ってほしいと考えています。更に三年生は、いよいよ次のステップに向けての学年です。迷うことも多いかもしれませんが、よく考えて判断・行動することを心がけ、悔いのない一年間となることを願っています。

【教職員異動（退任・新任）】【敬称略】

退任

事務長	高松　和廣
国語	内山　智美
数学	古賀　琉慎
英語	島田　彰治
寮監	村田　雅彰
日本語	福岡真理子
みどり	江崎　愛
みどり	中島結実枝

新任・再任

聖書	小泉　嗣
国語	吉安香寿恵
数学	藤本　栄一
理科	垣田　如月
家庭	井上知佳子
みどり	奥村　莉帆
みどり	甲斐　彰子
片山	理恵

【おしらせ】事務組織の改定について

九州学院事務室では2026年4月1日付で組織改定を行いました。初代事務局長には前年度事務次長であった田代英実が就任し、新設された会計課、総務課、法人課の各課長以下全事務局員を統括します。よろしくお願いいたします。

2026年度の進路状況について

進路指導部長　松本　郁

今年度の四年制大学の合格者数は、国公立大41名（うち現役36名:筑波大1〔体育〕、横浜市立大〔医〕、広島大〔情報〕、山口東京理科大〔工〕、九州大〔理〕、佐賀大〔経済〕、北九州市立大2〔国際環境工〕、熊本4〔工、文、薬、共創学環〕、熊本県立16〔総管8、文、環共7〕、長崎大〔情報、水産〕、長崎県立大〔地球創造・地方創生〕、宮崎大2〔工〕、鹿児島大2〔農業、理〕、過年度卒5名:一橋大〔経済〕、横浜国立大〔都市科学〕、福岡教育大〔教育〕、熊本県立大（環境共生）、大分大〔理工〕）

私立大合格者数のべ348名（うち現役一般入試130名:青山学院、桜美林,慶應義塾、法政大、帝京大2、東京農業大、日本大、明治大、関東学院大、東海大、愛知工業大、日本福祉大、京都先端科学大、同志社大、立命館大、近畿大、神戸学院大、九州産業大、九州栄養福祉大、西南学院大7、中村学園大7、福岡大10、福岡工業大、福岡国際医療福祉大2、福岡歯科大、九州看護福祉大4、熊本保健科学大6、熊本学園大30、九州ルーテル学院、崇城大24、尚絅大2など）総合型選抜入試22名、公募推薦入試29名、スポーツ推薦入試47名、指定校推薦入試合計107名（うち同志社13、福岡18、熊本学園17）でした。また、短期大学3名。就職内定者6名（公務員4、一般企業2）、となっています。今春卒業者340名の進路決定状況は、四年制大学81.8%、短期大学0.9%、専修・各種学校7.9%、就職1.8%、海外進学0.6%、予備校等（受験準備）6.2%でした。地域別で見ると、熊本県内への進学者は31.4%（昨年32.4%）、県外進学者のうち関東には26.6%（昨年24.6%）、関西には11.9%（昨年12.8%）、福岡には22.8%（昨年20.2%）が進学しました。

生徒は、多様化する入試制度に対応するため、日々の学習だけでなく、資格取得や校外活動に取り組んできました。新課程2年目の共通テストは、大方の予想通り難化し、厳しい戦いを強いられましたが、生徒たちは粘り強く努力し、合格を勝ち取りました。指定校推薦については、今年度は193（昨年は195）もの4年制大学から推薦依頼が寄せられ、同志社大から23名、福岡大から25名、熊本学園大との高大接続特別入試制度により29名の枠をいただけました。進路指導部としては、このような連携関係を大切にするとともに、進路先で充実した学業生活を送れるように、日頃の基礎学力の向上と進路希望に合わせたサポートを進めていきたいと考えています。

拡大を続ける九州学院の国際交流

～慶星大学（韓国・釜山）と新たにパートナーシップ協定を締結～

九州学院国際交流委員会では、より多くの生徒が国際交流に関わる機会を増やすための活動を行っています。

2025年夏に初めて台湾訪問研修を実施し、九州学院のパートナーシップ協定締結校である長栄大学（台南）を訪れました。今夏は8月2日㈯～6日㈭、台湾と韓国への訪問研修を行います。初めに台湾で台北、台南、高雄を訪問し、台南では長栄大学見学が組まれています。高雄からは空路で韓国の釜山に移動し、新たに九州学院とパートナーシップ協定を締結した慶星大学を見学します。その後はソウルに移動し、ダンスその他のKpopカルチャーをプロ講師から直接レッスンを受ける貴重な機会が設定されています。

九州学院と長期にわたって姉妹校締約を結んでいる豪州イマニュエルカレッジとは、毎年度交換留学生（長期・短期）を相互に派遣するとともに、定期的に訪問研修団の派遣と受入を実施しています。今年度は九州学院がイマニュエルカレッジ訪問などを、7月23日㈭～8月4日㈫の日程で訪豪を行う予定です。

2022年に九州学院とパートナーシップ協定を締結した米国ネブラスカ州立大学カーニー校への訪問研修については、実施時期を従前の夏季休暇中に戻す調整ができたことから、7月18日㈯～8月1日㈯に訪米研修を行う計画です。なお、これら3つの海外訪問研修の参加申込は、既に締め切られています。

パートナーシップ協定を締結している各大学には九州学院高校から指定校推薦で進学することができます。詳細は進路指導部までお問い合わせください。

九州学院がルーテル教会との国際交流として相互訪問を行っている米国カリフォルニア州の復活ルーテル教会（LCR）の訪問団が7月6日㈪～9日㈭に九州学院を訪問されて、生徒や教職員との交流が予定されています。

このように九州学院には国際交流の機会が豊富にあります。これからも多くの方々への機会提供や、内容の拡充などに、九州学院は努力してまいります。

新年度の学校生活がスタート！

～各学年で親睦会や研修会を実施～

新年度の学校生活が開始してから第2週となる4月16日㈭から2日間にわたって高校1年生一泊研修が南関町で開催されました。また、中高他学年は17日㈮に各学年で親睦会を開催しました（中学校学年親睦会の様子は3頁掲載の「九中コーナー」をご覧ください）。

高1一泊研修会は学校および南関町のホテルで実施され、校内では室永芳久校長の訓話が、ホテル（第1日）では全体研修とプログレス、アドバンス、アスリートのクラス別研修が行われました。第2日は九州学院の歴史を学ぶ時として、藤本誠先生（元教職員、九州学院百周年記念歴史資料・情報センター長）の講話を拝聴しました。

高2は熊本城で学年親睦会を開催。熊本城VRライブ解説を視聴後、班ごとに熊本城を見学しました。平成28年熊本地震発災から10年が経過した年の現地学習に、生徒たちは真剣な表情で取り組んでいました。なお、班別レポート作成と発表が後日に行われました。

高3は総合体育館でクラスマッチを実施。今回はリアル野球盤形式によるキックベースボールが行われ、各試合では選手を応援する大きな歓声が飛び交っていました。高校生活最後の年度が始まるなか、クラスの絆を深めることができました。







高校 第78回卒業証書授与式を挙行



3月2日㈪、九州学院総合体育館において九州学院高等学校第78回卒業証書授与式を挙行し、3年生340人が3年間または6年間（九州学院中出身者）を過ごした学び舎を卒業しました。礼拝に引き続いて行われた卒業証書授与式では、各担任が卒業生の名を読み上げ、室永芳久校長が卒業生代表に卒業証書を壇上で授与しました。

在校生を代表して送辞を川上一真さんが、卒業生を代表して答辞を桑原宗大さんが述べて、それぞれの感謝と決意の言葉に、列席者は感動していました。

2025（令和7）年度 事業活動収支計算書

（単位:百万円）

教育活動収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	学生生徒納付金	772	人件費	1,051
	手数料	13	経費	481
	寄付金	15	（内、減価償却）	153
	経常費等補助金	553	徴収不能額等	0
	付随事業収入	0		
	雑収入	8		
	教育活動収入計	1,361	教育活動支出計	1,532
	教育活動収支差額		▲171	
教育活動外収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	受取利息・配当金	0	借入金利息等	3
	その他の教育活動外収入	0	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外収入計	0	教育活動外支出計	3
	教育活動外収支差額		▲3	
経常収支差額			▲174	
特別収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	資産売却差額	24	資産処分差額	0
	その他の特別収入	9	その他の特別支出	0
	特別収入計	33	特別支出計	0
	特別収支差額		33	
基本金組入前当年度収支差額			▲141	
基本金組入額合計			▲141	
当年度収支差額			▲282	
前年度繰越収支差額			▲2,519	
基本金取崩額			0	
翌年度繰越収支差額			▲2,802	

（参考）

事業活動収入計	1,394
事業活動支出計	1,535

育友会定期総会を開催

～全議案が承認される～

5月22日㈮午前、九州学院育友会定期総会が九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルで開催されました。今回も対面（会場）での参加・委任・議決権行使から選択可としました。

吉本副会長の司会で総会は進行し、原之薗浩会長と室永芳久校長の挨拶に続いて各議案の審議に入りました。規約に則り原之薗会長が議長を務め、出席、委任、議決権行使の合計数が定足数に達していることを確認後、執行部が提出した1～6号の各議案の説明と審議が行われました。

【1号議案】2025年度行事報告
【2号議案】2025年度決算・監査報告
【3号議案】2026年度行事予定（案）
【4号議案】2026年度予算（案）
【5号議案】2026年度新役員（案）
【6号議案】育友会部活動支援事業（案）

採決（議場および議決権行使）の結果、全議案が賛成多数で承認され、今回の定期総会は終了しました。

同日午後には各学年クラス役員会、役員歓送迎会などが行われ、新体制での育友会活動がスタートしました。

引き続き皆さまのご協力をたまわりますようお願い申し上げます。

●新役員（執行部）●



会長　城下　一秀
副会長　堤　建太
副会長　佐藤　準一
副会長　廣島　大樹
副会長　吉本　洋
書記　濵砂　華子
書記　浦田　真理
会計　中村奈央美
会計　桐原　大
渉外　森園　春香
渉外　芹口　克喜
渉外　宮地　徹
監事　石原　正貴
監事　宮地　圭子

九州学院みどり幼稚園 協働的な学びは幼稚園から

認定こども園九州学院
みどり幼稚園園長　新垣　力

児童、生徒に知識や技能を身につけさせるため、これまで様々な研究が行われてきました。旧態依然とした教師主導型の教育の展開に終始すると、概ね受け身の姿勢が身につき、子どもは自ら考えようとしなくなります。いかにして学びの主体者である児童、生徒を中心に教育活動を展開していくかの研究が積まれ、学習指導要領も改訂されてきました。学校に送り出す立場の、みどり幼稚園においても様々な課題に対し、主体的に考え行動できる子どもの育成を行っています。幼稚園で行う「教育」がどのようなものなのか。イメージが持てないという方も少なからずいらっしゃるとは思いますが、幼稚園での「教育」はしっかりと行われていて、しかもその学びは生涯にわたって必要不可欠であり、忘れてはならないことばかりです。例えば、ある行事にクラスとして何をするのか。どう取り組むのかといった課題を与えたときに、子どもたちがどんな姿を見せるのか想像してみてください。現実的でないとわかっている突拍子もない意見を出す子もいますが、さらりと流されることが多いようです。一方で、「まじめに考えた友だちの意見は『平等』な気持ちで受け止める。」という意識が根付いています。「何をするのか？どっちにするのか？」出された意見や考えをどんな方法で決めたら「平等」になるのかを真剣に考え、1つに絞っていきます。近くで見ていると、きちんとプロセスを踏んでアプローチしていくと、幼児であっても「協働的な学び」が成立することがわかります。子どもたちに投げかける課題は、大人の感覚だと簡単な内容かもしれませんが、子どもたちは真剣です。純粋な彼らには「あきらめ」も「妥協」もありません。



卒業時に受験や就職試験といったことが控えている中学生や高校生に、こういった学習活動を常に求めることは難しいでしょうが、これからは、知識や技能を先生から授かっていた時代と違い、人類が出会ったことのない「解」のない課題に対し、生まれた国や言葉といった様々な違いを越え、各々が培ってきた知見を持ち寄って解決することが求められる時代です。学習指導要領で、「英語」（外国語）の授業時数が最も多くなっているのは、「いさかい」ではなく、国同士が仲よく手を取り合って共存共栄する姿勢を求めていると私は考えています。「協働的な学び」は理解できている人が理解できていない人に「教える」といった一方通行の学び合いとは違います。一人ひとりが「自分の考え」をもって参加し、表現し、伝え合うことで成り立ちます。幼稚園では、製作をする時間や歌を歌ったり、遊んだりする時間もたくさんありますが、発達段階に応じて「主体的に考え、判断し、自ら行動できる」子どもの育成に努め、学校へとつなげる取り組みも行っています。

九中コーナー

第79回卒業証書授与式を挙行

～108名が新たな旅路へ～



3月7日㈯、九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルにおいて「九州学院中学校第79回卒業証書授与式」が厳粛な雰囲気の中で行われました。3年間の思い出を胸に、卒業生たちは晴れやかな表情でこの日を迎えました。

当日は在校生と保護者、来賓、教職員など約600人が式典に臨みました。なお、今回より開式前に礼拝を行うプログラムに変更し、礼拝は中島康文院長が司式を務めました。式では、各担任から一人ひとりの名前が呼ばれ、校長先生から卒業証書が手渡されました。卒業生は堂々とした姿で受け取り、その姿からは大きな成長が感じられました。

最後にクラスごとに全員で保護者と担任へ感謝の言葉をおくると、各クラス担任が選曲した歌と大きな拍手が鳴り響くなか、一人ずつ退場していきました。

式後は各クラス最後の学活の時間を持ちました。教室には多くの涙と笑顔があふれ、卒業生の新たな門出を祝う温かい時間となりました。

J79回、108名の卒業生の皆さん、保護者の皆さま、ご卒業ことにおめでとうございます。神さまの祝福と恵みがますます豊かにありますようにお祈りいたします。

また、記念品として頂戴した日よけは中学校中庭で使用させていただいております。誠にありがとうございました。



新入生104名を迎えて新学期がスタート

学年親睦会も大盛り上がり

4月9日㈭に1年生104名を迎え、中学校は304名で新年度をスタートしました。

4月17日㈮には1年生に向けた部活動紹介と各学年の親睦会を実施しました。1年生は「友達103人できるかな」と題して色々な人に声を掛けながらお互い自己紹介をし合いました。2年生はクラスマッチでドッジボールを、3年生は「友達100人できたかな」と題し学年全体の再交流を楽しみました。

親睦会はどの学年も積極的に取り組んでおり、明るい笑顔や楽しそうな笑い声が各所に広がっていました。今後も様々な活動を通して学年の親睦を深めながら「敬天愛人」「自分で自分を監督し、役に立つ善人になる」という教えを忘れず、それぞれの目標や決意を胸に充実した九中生活を送ってくれればと思います。



夜須高原青少年自然の家にてキャンプを実施

4月30日㈭～5月1日㈮、1泊2日で福岡県の「国立夜須高原青少年自然の家」で全校教育キャンプを行いました。昨年度は葦北での実施でしたが、今年度は初めて夜須高原での実施となりました。

初日は到着後レクリエーションとしてクイズ大会を行い、キャンプ・学校・先生に関するクイズに挑戦しました。正解が発表されると、各所から歓声や拍手が上がり、会場は大いに盛り上がりました。その後は野外炊飯を実施し、各班でカレー作りに挑戦しました。キャンプでは2年ぶりの野外炊飯でした。初日は残念ながら雨模様でしたが、野外炊飯もなんとか実施することができました。火起こしや調理に苦戦しながらも、役割分担をして協力し、全員無事にカレーを完成させることができました。中にはご飯が硬かった班もあったようですが、みんなで作った食事を囲み笑顔あふれるひとときとなりました。

2日目は晴天に恵まれ、無事スコアオリエンテーリングを実施しました。地図を片手に各所に設置されたチェックポイントを探しながら点数を競い合いました。班で声をかけ合いながら助け合う姿が多く見られました。

今回のキャンプは、クラスメイトと共に過ごす中で、自ら考えて行動する力や周囲と協力する姿勢を育む貴重な機会となりました。また、仲間と支え合うことの大切さを改めて実感できた時間になったのではないでしょうか。これらの学びを今後の学校生活に生かし、より充実した日々を送っていってくれればと思います。







学友会活動成績（1月1日～5月6日）

高校の部

空手道部

熊本県高等学校1・2年生大会（2月15日）〈菊池市総合体育館〉
▽男子個人形
2位 神山 紀仁（1年）
▽少年男子個人形
3位 神山 紀仁（2年）

第49回熊本県空手道個人選抜選手権大会（4月29日）〈菊池市総合体育館〉
▽少年男子個人組手
3位 羽祢田大智（3年）

柔道部

全国高等学校柔道選手権大会熊本予選（1月17・18日）〈八代市総合体育館〉
▽男子団体
1位 1位
▽女子団体
1位
【男子個人】
▽66kg級
1位 岩尾 颯真（1年）
▽73kg級
2位 下村 修平（2年）
▽81kg級
3位 三澤 絢人（1年）
▽無差別級
2位 東 大遼（2年）
3位 楠本 夢人（2年）
【女子個人】
▽52kg級
2位 野住はるか（2年）
▽63kg級
1位 吉永 衣織（1年）
2位 田頭 柚葉（1年）
▽無差別級
1位 石橋 菜々（2年）
【男子個人】
▽66kg級
1位 岩尾 颯真（1年）
▽73kg級
2位 下村 修平（2年）
▽81kg級
3位 三澤 絢人（1年）
▽無差別級
2位 東 大遼（2年）
3位 楠本 夢人（2年）
【女子個人】
▽52kg級
2位 野住はるか（2年）
▽63kg級
1位 吉永 衣織（1年）
2位 田頭 柚葉（1年）
▽無差別級
1位 石橋 菜々（2年）

全国高等学校柔道選手権大会（3月27・28日）〈東京都日本武道館〉
▽男子団体 出場
▽女子団体 ベスト16

全日本強化選手選考会（3月29日）〈東京都講道館〉
▽女子個人78kg級
2位 石橋 菜々（2年）

九州ジュニア体重別選手権大会熊本県予選会（4月19日）〈八代市総合体育館〉
【男子個人】
▽66kg級
1位 岩尾 颯真（2年）
▽90kg級
3位 増田 幸大（2年）
▽100kg級
1位 東 大遼（3年）
3位 平山 雄盛（2年）
3位 高橋 治守（3年）
【女子個人】
▽52kg級
1位 藤井 優花（1年）
▽57kg級
1位 石橋 莉乃（1年）
▽70kg級
1位 吉永 衣織（2年）
▽78kg級
1位 石橋 菜々（3年）

剣道部

熊本県下高等学校剣道大会兼第35回全国高等学校選抜剣道大会県予選会（1月17・18日）〈山鹿市総合体育館〉
▽団体 1位

第39回熊本県高等学校一年生弓道大会（1月31日）〈八代市弓道場〉
▽男子個人
2位 冨永 雄矢（1年）
▽女子個人
2位 久保田紗央（1年）

第3回西日本高等学校弓道大会（3月21・22日）〈八代市弓道場〉
▽男子団体 4位
▽女子団体 ベスト16

国民スポーツ大会弓道競技熊本県代表選考大会（4月19日）〈南部総合スポーツセンター1〉
▽女子団体 1位
▽男子団体 2位

第4回全九州高等学校トーナメント大会（4月26日）〈熊本市植木弓道場〉
▽男子団体 3位
▽女子団体 1位
▽男子個人
1位 山岡 大悟（2年）
▽女子個人
2位 久保田紗央（1年）
▽男子個人
2位 冨永 雄矢（1年）
▽女子団体 3位
▽男子団体 2位

第7回熊本県高等学校遠的弓道大会（2月22日）〈南部総合スポーツセンター1〉
▽男子団体 1位
▽女子団体 1位

熊本県高等学校剣道大会兼第35回全国高等学校選抜剣道大会県予選会（1月17・18日）〈山鹿市総合体育館〉
▽団体 1位

水泳部

熊本県春季選手権水泳競技大会兼春季JO予選会（1月10・11日）〈アクアドーム くまもと〉
【男子】
▽100m自由形
1位 藤本 拓真（2年）
3位 福味 昂一（3年）
▽200m自由形
1位 藤本 拓真（2年）
2位 藤原 琉誠（3年）
4位 福味 昂一（3年）
▽400m自由形
1位 藤原 琉誠（3年）
2位 福田 悠雅（1年）
▽1500m自由形
1位 福田 悠雅（1年）
3位 古屋心太朗（2年）
▽100m背泳ぎ
3位 古屋心太朗（2年）
▽200m背泳ぎ
4位 中村 英太（2年）
▽100m平泳ぎ
2位 中村 英太（2年）
▽200m平泳ぎ
7位 坂井 優日（2年）
▽50mバタフライ
松永 蒼生（3年）
▽100mバタフライ
3位 藤原 琉誠（3年）
松永 蒼生（3年）
▽200mバタフライ
松岡 華冬（1年）
▽200m個人メドレー
内田 匠（2年）
津地 佑星（1年）
【女子】
▽50m自由形
1位 奥村 柚奈（3年）
▽100m自由形
1位 中村つばさ（3年）
奥村 柚奈（3年）
鳥井あいら（1年）
▽200m自由形
1位 大田 朱莉（2年）
▽800m自由形
2位 石川 史乃（1年）
▽400m自由形
3位 奥村レイサ（1年）
▽400m個人メドレー
内田 匠（2年）
津地 佑星（1年）
▽100mバタフライ
松永 蒼生（3年）
▽200mバタフライ
松岡 華冬（1年）
▽200m個人メドレー
内田 匠（2年）
津地 佑星（1年）

第12回桜島カップ水泳競技大会（4月4・5日）〈鴨池公園水泳プール〉
【男子】
◎15～16歳
▽50m自由形
2位 押方 奎汰（1年）
▽100m自由形
5位 廣瀬 大智（1年）
押方 奎汰（1年）
▽200m自由形
6位 廣瀬 大智（1年）
8位 押方 奎汰（1年）
▽400m自由形
6位 廣瀬 大智（1年）
8位 押方 奎汰（1年）
▽100mバタフライ
4位 馬場 健成（1年）
▽200mバタフライ
1位 松岡 華冬（2年）
▽200m個人メドレー
2位 津地 佑星（2年）
▽400m個人メドレー
5位 馬場 健成（1年）
▽200m平泳ぎ
8位 松島 瑞（3年）
▽200mバタフライ
6位 福本 琉偉（3年）
▽200m個人メドレー
6位 内田 匠（3年）
7位 内田 匠（3年）
8位 松島 瑞（3年）
▽400m個人メドレー
2位 松島 瑞（3年）
4位 内田 匠（3年）
◎CS
▽1500m自由形
1位 松島 瑞（3年）
【女子】
◎15～16歳
▽100m自由形
3位 鳥井あいら（2年）
▽200m自由形
4位 奥村レイサ（2年）
▽400m自由形
2位 奥村レイサ（2年）
▽100m平泳ぎ
2位 石川 史乃（2年）
▽200m平泳ぎ
1位 大田 朱莉（3年）
▽50m平泳ぎ
5位 藤吉 彩嘉（1年）
▽100mバタフライ
2位 奥村レイサ（2年）
▽400m個人メドレー
2位 松島 瑞（3年）
4位 内田 匠（3年）
◎CS
▽1500m自由形
1位 松島 瑞（3年）
【女子】
◎15～16歳
▽100m自由形
3位 鳥井あいら（2年）
▽200m自由形
4位 奥村レイサ（2年）
▽400m自由形
2位 奥村レイサ（2年）
▽100m平泳ぎ
2位 石川 史乃（2年）
▽200m平泳ぎ
1位 宮川 紗都（1年）
▽50m平泳ぎ
5位 藤吉 彩嘉（1年）
▽100mバタフライ
4位 柿内 希心（1年）
▽200mバタフライ
3位 柿内 希心（1年）
◎17歳以上
▽100m平泳ぎ
2位 大田 朱莉（3年）
▽200m平泳ぎ
1位 大田 朱莉（3年）

ボクシング部

熊本県下高等学校ボクシング競技大会（4月11・18・19日）〈熊本農業高等学校〉
【男子】
Aパート
▽フライ級
1位 朝倉 結叶（2年）
▽バンタム級
2位 中園 興人（3年）
▽ライト級
1位 中田 陸登（3年）
Bパート
▽バンタム級
2位 金子 昇太（2年）
▽ライト級
2位 濵砂 春翔（2年）
【女子】
▽ライトフライ級
2位 田上 佳澪（2年）
▽フライ級
2位 井上 結月（2年）
▽バンタム級
1位 江村 明音（1年）
▽フェザー級
2位 橋井 楓（2年）
▽ライト級
2位 平井富和子（2年）

ハンドボール部

第4回春季熊本県高校ハンドボール大会（4月12～18日）〈鹿本体育館〉
3位

バスケットボール部

熊本県下高等学校新人バスケットボール大会（1月10・11・17・18日）〈山都町総合体育館〉
1位

第56回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会（2月14・15日）〈菊陽町総合体育館〉

陸上競技部

第4回熊本県高等学校新人駅伝競走大会（1月31日）〈えがお健康スタジアム周回コース〉
▽男子駅伝
3位 杉山・冨田・可児・溝辺・佐藤
第18回西脇多可新人高校駅伝競走大会（2月15日）〈兵庫県北はりま田園ハーフマラソンコース〉
▽総合男子
2位 渕上・佐藤・田中・久保・杉山・永本・山崎

▽第6区区間
1位 永本 湊士（2年）
▽第6区区間
1位 永本・佐藤・渕上・久保・近藤・田中・杉山
▽第4区区間
1位 久保 和寛（2年）
▽第6区区間
1位 田中 允紳（2年）

第77回金栗杯玉名ハーフマラソン大会（3月8日）〈玉名市役所前発着〉
▽学校対抗男子10km
5位 溝辺・可児・冨田

第36回阿久根市長旗九州選抜高校駅伝大会（3月8日）〈鹿児島県阿久根総合運動公園陸上競技場発着〉
▽男子駅伝
2位 永本・佐藤・渕上・久保・近藤・田中・杉山

第41回U20日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走（2月21日）〈海の中道海浜公園〉
▽U20男子8km
6位 門間 蒼大（3年）

第80回南九州四県対抗バスケットボール選手権大会（4月25・26日）〈大分県べっぷアリーナ〉
2位

自転車競技部

ミヤザキカップ2025エンデューロ（1月18日）〈宮崎県西都原古墳群特設周回コース〉
▽男子チャンピオン
2位 正木 颯人（1年）

全国高等学校選抜自転車競技大会（3月13～16日）〈群馬県グリーンドーム前橋〉
▽ケイリン
2位 正木 颯人（1年）
▽スプリント
前川 權里（1年）
▽学校対抗 総合4位

2026広島三原ロードレース（3月28日）〈広島県立中央森林公園〉
▽E1カテゴリ
4位 福永 岳（1年）

九州チャレンジロードレース（4月5日）〈宮崎県綾町錦原運動公園特設コース〉
▽男子ジュニア
1位 福永 岳（2年）
2位 藤田怜太郎（2年）

熊本県自転車競技選手権大会トラックレース（4月11日）〈熊本競輪場〉
▽1kmタイムトライアル
1位 正木 颯人（2年）
▽ケイリン
1位 正木 颯人（2年）

第29回西日本地区自転車競技大会（4月18・19日）〈別府競輪場〉
▽チームスプリント
1位 正木・前川・宮谷
▽1kmタイムトライアル
1位 正木 颯人（2年）
▽ケイリン
2位 正木 颯人（2年）
▽団体総合男子
1位 津志田乃瑛（2年）

第60回西日本ロードクラシック（4月19日）〈兵庫県 加東市播磨中央公園〉
▽E3カテゴリ
4位 藤田怜太郎（2年）

きらら浜2026クリテリウム（5月3日）〈山口県山口きらら博記念公園〉
▽E1カテゴリ
6位 福永 岳（2年）

中学の部

ハンドボール部

熊本市中学生ハンドボール選手権大会（4月18日）〈長嶺中学校〉
2位

剣道部

第40回熊本県剣道道場連盟学年別個人選手権剣道錬成大会（2月7日）〈合志市総合体育館〉
▽2年の部
1位 平川 航成（2年）
2位 寺本 知頼（2年）
▽1年の部
1位 飯盖 龍水（1年）
2位 田之上剣大（1年）
3位 福島 颯希（1年）
宮里 将聖（1年）

第43回熊本市中学新人剣道大会（3月14日）〈藤園中学校〉
▽団体 1位

第27回剣聖「宮本武蔵」旗全国小・中学生剣道大会（4月26日）〈熊本市総合体育館〉
▽個人3年の部
1位 坂本 皇志（3年）
▽個人1年の部
2位 鷲谷 魁（1年）

柔道部

県下中学校柔道団体優勝大会（2月21日）〈山鹿市総合体育館〉
▽男子団体 1位

県下中学生柔道錬成大会（5月9・10日）〈山鹿市総合体育館〉
▽男子団体 1位
▽女子団体 1位

熊本県春季選手権水泳競技大会兼春季JO予選会（1月10・11日）〈アクアドーム くまもと〉
【男子個人】
▽66kg級
3位 石橋丈士郎（2年）
▽81kg級
1位 清村 獅道（3年）
松本 琉生（3年）
▽90kg級
1位 前田 就重（3年）
2位 岡本 隼虎（3年）
▽90kg超級
1位 福嶋 左宥（3年）
【男子】
▽100m
1位 入江 璃旺（3年）
6位 増井 帥王（1年）
▽200m
1位 入江 璃旺（3年）
3位 大和 琉生（3年）
6位 増井 帥王（1年）
▽400m
1位 南條 健人（2年）
3位 城戸 宏弥（3年）
6位 増井 翔拓（1年）
▽1500m
1位 佐藤聡太郎（2年）
2位 可児 悠月（2年）
4位 藪田 鮫希（3年）
5位 水本 優翔（2年）
▽50m
1位 森下 颯斗（2年）
2位 山川 竜臣（3年）
▽100mH
1位 宮本 宏弥（3年）
2位 吉良創太郎（3年）
3位 木下琥一朗（1年）
▽400mH
1位 吉良創太郎（3年）
2位 木下琥一朗（1年）
3位 永野 宏弥（3年）
▽3000mSC
1位 米村 和真（2年）
▽4×100mR
3位 瀬川・牟田・南條・城戸・吉良・守田・木下
【女子私学】
▽100m
1位 大石 桜（2年）
3位 野田 一花（2年）
5位 木崎 恵（1年）
▽200m
2位 大石 桜（2年）
5位 大原 優季（3年）
▽400m
1位 野田 一花（2年）
2位 木崎 恵（1年）
▽800m
岡村 空（3年）
夢叶（1年）
▽1000mH
笠松 悠花（1年）
笠松 利帆（1年）
古庄 夢叶（1年）
▽4×100mR
笠松 悠花（1年）
植野紗代子（3年）
籾原希乃花（1年）
植野紗代子（3年）
【男子私学】
▽100m
4位 入江 璃旺（3年）
6位 増井 帥王（1年）
▽200m
1位 入江 璃旺（3年）
2位 大和 琉生（3年）
6位 増井 帥王（1年）
▽400m
1位 南條 健人（2年）
4位 守田 翔拓（1年）
▽1500m
1位 佐藤聡太郎（2年）
2位 可児 悠月（2年）
4位 藪田 鮫希（3年）
5位 水本 優翔（2年）
▽50m
1位 森下 颯斗（2年）
2位 山川 竜臣（3年）
▽110mH
宏弥（3年）
▽400mH
吉良創太郎（3年）
木下琥一朗（1年）
▽3000mSC
米村 和真（2年）
▽4×100mR
瀬川・牟田・南條・城戸
6位 田尻・吉良・守田・木下
【女子私学】
▽100m
1位 桜（2年）
3位 野田 一花（2年）
5位 木崎 恵（1年）
▽200m
2位 大石 桜（2年）
5位 大原 優季（3年）
▽400m
1位 野田 一花（2年）
2位 木崎 恵（1年）
3位 木村 由聖（3年）
▽800m
岡村 空（3年）
笠松 夢叶（1年）
▽1000mH
笠松 悠花（1年）
笠松 植野紗代子（3年）
籾原希乃花（1年）
植野紗代子（3年）
▽4×100mR
笠松 悠花（1年）
籾原希乃花（1年）
植野紗代子（3年）
▽男子団体 1位
【男子個人】
▽66kg級
3位 石橋丈士郎（2年）
▽81kg級
3位 清村 獅道（3年）
松本 琉生（3年）
▽90kg級
1位 前田 就重（3年）
2位 岡本 隼虎（3年）
▽90kg超級
1位 福嶋 左宥（3年）

第80回南九州四県対抗バスケットボール選手権大会熊本県予選（4月11・12・18・19日）〈玉名市総合体育館〉
1位

第80回南九州四県対抗バスケットボール選手権大会（4月25・26日）〈大分県べっぷアリーナ〉
2位

ラグビー大会（2月21日）〈SAGAサンライズパークボールフィールド〉
出場

ソフトテニス部

春季高等学校対抗ソフトテニス大会（5月2日）〈蛇ケ谷公園テニスコート〉
▽女子団体 1位

野球部

第1558回九州地区高等学校野球熊本大会（3月20日～4月5日）〈リブワーク藤崎台球場ほか〉
1位

チアダンス部

USA school&college Regionals nonno九州大会（1月31日）〈ナースパワーアリーナ〉
▽高校生編成Song/Pom部門Medium/Large
1位
▽高校生編成Song/Pom部門Medium/Small
1位

USA school&college Nationals nonno（3月26日）〈千葉県幕張メッセ〉
▽高校生編成Song/Pom部門MediumB
6位

ラグビー部

第48回全九州高等学校新人ラグビー大会熊本県予選（1月11・17・25日）〈熊本県民総合運動公園〉
1位

第48回全九州高等学校新人

水泳部

熊本県春季選手権水泳競技大会兼春季JO予選会（1月10・11日）〈アクアドーム くまもと〉
【男子】
▽200m自由形
5位 木村 由聖（2年）
▽400m自由形
4位 木村 由聖（2年）
▽50m平泳ぎ
3位 坂井 皇太（2年）
▽100m平泳ぎ
1位 坂井 皇太（2年）
▽200m平泳ぎ
2位 坂井 皇太（2年）
【女子】
▽100m自由形
1位 津志田乃瑛（2年）
▽400m自由形
1位 津志田乃瑛（2年）
▽800m自由形
2位 津志田乃瑛（2年）
▽1500m自由形
1位 津志田乃瑛（2年）
◎13～14歳
▽100m自由形
5位 木村 由聖（3年）
▽200m自由形
2位 木村 由聖（3年）
▽400m自由形
3位 木村 由聖（3年）
▽100m平泳ぎ
1位 坂井 皇太（3年）
▽200m平泳ぎ
1位 坂井 皇太（3年）

第18回熊本県高等学校新人駅伝競走大会（1月31日）〈えがお健康スタジアム周回コース〉
▽男子駅伝
3位 杉山・冨田・可児・溝辺・佐藤

第2回ジャパンアスリート杯リレーフェスティバル（3月30日）〈鹿児島県ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅〉
▽男子中学・高校・一般
3位 南條 健人（1年）
▽男子中学・高校・一般
4×100mR
2位 瀬川・入江・永野・南條
▽男子選抜3000m
3位 入江 璃旺（2年）
▽女子選抜3000m
2位 大石 桜（1年）

谷口睦生杯第27回八代選手権大会（4月19日）〈熊本県営八代運動公園陸上競技場〉
▽総合の部
5位 永本・久保・渕上・田中・佐藤・杉山
【男子】
▽indoor110mH
2位 永野 宏弥（2年）
3位 吉良創太郎（2年）
▽選抜indoor60m
3位 永野 宏弥（2年）
▽スプリントトライアスロン
2位 入江 璃旺（2年）
【女子】
▽選抜indoor60m
1位 大石 桜（1年）
▽スプリントトライアスロン
2位 大石 桜（1年）

第41回熊本県私立学校陸上競技大会（4月29日）〈水前寺陸上競技場〉
▽4×400mR
1位 木崎・野田・大石・笠松悠